

【徳島県那賀町】

校務 DX 計画

学校・教育委員会間では、STORK・Teams 等クラウドサービスを活用することで、電子データでの通知表の作成、教材作成の共同作業化といった業務改善・効率向上に繋がっており、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」での自己点検では、依然として紙媒体での運用も多く、保護者との連絡・通知についてもクラウドサービスを十分活用できていない状況である。

学校の施設状況や、保護者の家庭環境により全ての校務を DX 化するのは現実的ではないが、現状では業務のデジタル化の余地は残されているため、学校、ICT 支援員と連携を図り以下の課題に取り組んでいく。

1. 「押印・FAX の原則廃止」

学校・教育委員会・保護者等の連絡・申請等で一部ペーパーレス化は進んでいるものの、押印・署名が必要な書類はあり、校務 DX 計画の目的に反している。災害等クラウドサービスが利用できない場合を除き、押印・FAX の原則廃止に向けて各種関係機関と連携を図り、規則の見直しを図る。

2. 「クラウドサービスを活用した資料作成の促進」

職員間の会議資料や、保護者に対しての通知・依頼文章については紙媒体の利用が多く、クラウドサービスの活用は進んでいない。以前、教育委員会が学校に対し ICT の利活用に関するアンケートを実施した結果、一部教職員からは実践方法がわからない、ICT に慣れていないため紙媒体よりも負担になるといった意見が見受けられた。

現在も ICT 支援員によるクラウドサービスを活用したペーパーレス化については推進を行っているが、今後は活用実例などを用い、各学校・保護者の実態に沿って業務改善方法を研究していく。